

高砂青松

(合併号)No.24
2011年3月16日 発行

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



「地域を育み、大陸をつなぐ」

Building Communities Bridging Continents
2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

Rotary Club



高砂R.C.との合同例会

平成23年3月9日 於：ウェディングパレス鹿島殿

高砂R.C.・高砂青松R.C.合同例会次第

高砂R.C.幹事 脇谷 政孝
高砂青松R.C.幹事 嶋谷 拓雄
司会 高砂青松R.C.副幹事 佐野 栄作

12:30	開会・点鐘-----	高砂青松	伊藤 会長
	ロータリーソング(我等の生業) ---	高砂青松	親睦委員会
	ゲスト紹介-----	高砂青松	伊藤 会長
	元阪神タイガース監督 中村 勝広氏		
	来訪ロータリアン紹介-----	高砂青松	親睦委員会
	新会員紹介-----	高砂	脇谷 幹事
	大村 裕史 会員	高砂青松	嶋谷 幹事
	歓迎歌-----	高砂青松	唱歌委員会



----- 食事・交歓 -----

12:45	出席報告-----	高砂	出席委員会
		高砂青松	出席委員会
	委員会報告-----	高砂	各委員会
		高砂青松	各委員会
	ロータリー情報-----	高砂	R情報委員会
		高砂青松	R情報委員会

	ニコニコ箱報告 -----	高 砂	S. A. A.
		高砂青松	S. A. A.
	幹事報告 -----	高 砂	脇谷 幹事
		高砂青松	嶋谷 幹事
12 : 55	会長の時間 -----	高砂青松	伊藤 会長
13 : 00	本日のプログラム		
	講師紹介	高砂青松	プログラム委員会
	講 師		
	元プロ野球 阪神タイガース監督 / オリックス・バファローズ監督		
	現(株)毎日放送 (株)スポーツニッポン新聞社 野球評論家		
	中村 勝広 氏		
	演 題 「私の野球人生から 日々是学習」		



14 : 00	謝 辞 -----	高 砂	信原 会長
	閉 会・点 鐘 -----	高砂青松	伊藤 会長




 会長の時間 President

本日は高砂青松，そして高砂ロータリークラブの合同例会を高砂青松の担当という事で開催させて頂きます。今回は9月に高砂クラブの担当で開催頂きまして有り難うございます。

今回は佐藤友美子さんの「成熟社会を共に生きる」という講演で高砂クラブ，そして信原会長，脇谷幹事の文化度の高さに感銘させて頂きました。

今回の例会につきましては高砂青松の会長の私が遊びの多い人間でございまして，私の趣味である茶とか絵画とか祇園とかいろいろと考えましたが，私が大ファンでもある，ゴルフや飲み会で交流のある阪神タイガースの選手に来てもらおうと思っておりました。特に目をつけておりました矢野さんには私の食事会に信原さんや脇谷さんにも同席を頂いて，矢野さんの同意を得ておりました。その後も何回か食事のたびに確認しておりましたが，本日は甲子園でのオープン戦という事で，非常に困った結果になってしまいました。ところが矢野さんからのアドバイスもあり，阪神タイガースとオリックスバッファローズの監督をされた，予定よりもはるかに格上の中村勝広さんにお出で頂く事が出来ました。先月，神戸で会食させて頂きましたが，野球での興味をそそられる楽しいお話や，同時に人使いや戦略や経営等に至るまで監督は多くの経験をもたれております。又，今年の優勝予想を含めて楽しいお話を頂けると期待しております。

中村監督について特に感心しますのは，高校も千葉の進学校で頭も非常に良い方で，御子息も灘中，灘高出身で大病院のドクターでいらっしゃるそうです。又，歌も非常に上手で雰囲気も非常に楽しい方で，先日も楽しく騒いで，お開きになる寸前に「もう一曲・・・私はこういう場でいつも歌う最後の歌があるんです」とおっしゃいました。何かと思いますと「上げば尊し」との事でした。エエ・・・と思いましたが，カラオケが鳴りマイクが回ってきますと，音痴な私も自然に声が出て，若い昔の清純な気持ちで私を含めて全員が大声で歌っておりました。歌をリードされる監督を中心に，監督が恩師のような気持ちで全員が歌っておりました。終わってから監督の人間術といいますが，人の気持ちのまとめ方といいますが，非常に勉強になったと感心致しました。今日は又，別な勉強をさせて頂けると期待しております。

例会記録 2011. 3. 9 (水) 通算1561回

来訪ロータリー 安達龍司様(姫路南R.C.)

アン報告

出席報告 2月23日 会員数49名 欠席者3名 出席率93.18% <修正による>

(この内出席免除者8名(出席4名))

3月9日 会員数49名 欠席者15名 出席率68.89%

(この内出席免除者8名(出席4名))

幹事報告

第31回 通算1481回

1. 国際ロータリー 2680 地区東播第二グループガバナー補佐より
GSE 予算書と補助金分配についての連絡がありました。
1クラブあたり ¥ 11,150 となります。
2. 国際ロータリー 2680 地区
東播第二グループガバナー補佐より
2010～2011年度東播第二グループI.M.決算報告書が届いております。
当クラブには¥24,000の返金となります。取り扱いについては、次回理事会にて協議させていただきます。
3. 国際ロータリー 2680 地区
ガバナーエレクト事務所より
地区内クラブ会費等調査アンケートありました。
事務局を通じて、報告させていただきました。
4. 国際ロータリー 2680 地区ガバナー事務所より
公益財団法人ロータリー日本財団の認定と税制上の優遇措置に関するお知らせが届いています。
5. 伊織まつり奉賛会より
二十五周年記念武蔵・伊織まつりご協力の依頼がございました。
お取り扱いにつきましては、次回理事会にて協議させていただきます。
6. 例会変更
姫路ロータリークラブ
4/5 (火) 18:30～20:30
於：和ダイニング三日潮
(播磨国総社内)

ニコニコ報告

信原 智彦 (高砂R.C.会長)

本日は高砂青松ロータリーの皆様にお世話になります。よろしく願いいたします。

脇谷 政孝 (高砂R.C.幹事)

本日の合同例会ではお世話になります。講師の中村様よろしく願いいたします。

伊藤 勝之

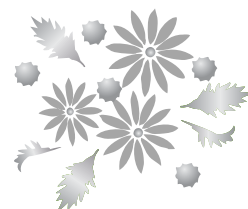
本日の合同例会よろしく御願います。
中村勝広様、御無理を申しましたが楽しい講話をいっぱい願います。

青木 裕加

親子茶道教室お茶会お手伝い有難うございました。信原会長、脇谷幹事、ご出席有難うございました。

小西	文孝	・	柿木	國夫	・	嶋谷	拓雄
西中	亮二	・	志方	正昭	・	大森	千里
田水	敬雄	・	増田耕太郎	・	京谷	慎平	
中谷	利幸	・	廣瀬	明正	・	中右	和宏
佐野	栄作	・	大橋	卓司	・	都倉	達殊
岡本	崇司	・	庄司	武	・	植杉成一郎	
井野	隆弘	・	藤本	明久	・	松下	和雄
砂川	仁史	・	岩崎	勇人			

合同例会を祝して。



会長の時間 President

今月の花は桜です。平安時代に広まり、花の代名詞のようになり、今も日本人にとって特別な花です。江戸末期までは山桜と枝垂桜が主流でしたが、現在はソメイヨシノが全盛です。十数年前の春に齊州島にゴルフに行きましたが、全島で桜が満開で、現地の人と話していると「日本の桜は昔、齊州島から日本に伝わった。しかし、今の齊州島の桜は逆輸入で美しい日本のソメイヨシノばかりだ。」という話を聞きました。

桜は蕾から開花、そして落花まであっという間で、その後の新芽から葉が大きくなるまでも短く、毎日毎日、同じ木を見ているとその生命力に感激します。「諸行無常」とか「もののあわれ」「潔さ」という日本人の精神の模範とも言えるのではないかと思います。4月には当クラブの花見例会がありますが、美しい桜が見ればと祈願しています。

今月の宝石はアクアマリンです。その名の通り、海の色をした宝石で、ヨーロッパの古い船乗りは海の力の宿ったお守りとして大切にしていたと聞いています。

桜とアクアマリンの今月が終わりますと、今期の2/3が終わり、残り3ヶ月となります。桜の花のような気持ちも一部ありますが、残りの期間をどうかよろしく御願い申し上げます。

尚、一名の新入会員の増加がありましたが、クラブの予算の問題もごさいます。出来ればもう一名位新入会員が増員出来ればと願っております。どうかよろしく御願い申し上げます。

話は変わりますが、去年は政治・経済・社会面で大激変の一年でした。今年は平和な年であって欲しいと願いますが、エジプトやリビアで大変な事が起こっています。今の世界は同様の事が他の多くの国で起こっても不思議でない状況で、今年も激変の年にならないかと心配です。日本においても春には統一地方選です。高砂、加古川もそうですが、姫路、明石も大激変になりそうです。国の政治も本当に悲しい状況で、今後の政治、そして経済も影響される可能性が大で大変ですが、我々の地域はロータリーの力で育んでいきたいものです。

近隣クラブINFORMATION Neighbor-club information

クラブ名	変更内容	日時・場所
加古川ロータリークラブ	例会取り止め	3/29(火)
加古川平成ロータリークラブ	例会取り止め (定款第6条第1節(c)により)	3/30(水)
姫路ロータリークラブ	お花見例会	4/5(火)18:30~20:30 於:和ダイニング三日潮(播磨国総社内)

(注)高砂青松ロータリークラブのホームページにも掲載しています。.....ホームページの情報の方が早く把握できます。

幹事報告 Secretary

第30回 通算1480回

1. 国際ロータリー 2680 地区事務所より
ニュージーランド・クライストチャーチ
付近にて発生しました、地震被害に対す
る義捐金の照会がありました。ニュ
ージーランド及び太平洋諸島のロータリー
からなる Rotary New Zealand Community
Service が窓口となるようです。本日の理
事会にて対応検討させていただきます。
2. 国際ロータリー 2680 地区ガバナー事務
所より
国際ロータリー創立記念日に個人による
オンラインで年次寄付をすると認証が倍
になる特典があると報告がありました
が、寄付の申し込みが殺到し、1日延長
されたと報告がございました。
3. 国際ロータリー 2680 地区東播第2 グ
ループ 西尾ガバナー補佐より
GSEメンバー歓迎会の案内が届いています。
4. 国際ロータリー 2680 地区ガバナー事務
所より
3800 地区GSEチーム研修報告会・送別
会の案内が届いています。
5. 加古川ロータリークラブより
3800 地区GSEチームが来日1週間を経
過しています。活動状況の報告書が届い
ています。
6. 国際ロータリー 2680 地区ガバナー事務
所より
「今こそポリオ撲滅のとき」ニュースレ
ター2011年3月号が届いています。
7. ステップハウスより
広報誌「Step Go」

ニコニコ報告 Donation

伊藤 勝之

廣瀬さん卓話を楽しみにしています。
私の好きな当地区の古代の話を頂けると喜んでい
ます。勉強された事を地域を育むという意味でも
一人でも多くの人に伝えて欲しいと願います。

中谷 利幸・京谷 慎平・伊藤 勝之
矢野 聡・大橋 卓司

大村さんの入会を歓迎して！

内海 薫

岡本さん、先日はありがとうございます。
大村さん、入会おめでとうございます。

廣瀬 明正

本日卓話をさせていただきます。

田水 敬雄

廣瀬会員この度は学位取得おめでとうございます。
本日の卓話たのしみにしています。

嶋谷 拓雄・佐野 栄作

本日の卓話よろしくお願ひします。

志方 正昭

2月16日の例会、100%出席に御協力いた
だき、ありがとうございます。

竹原 俊三・井野 隆弘・辻田 重恵

誕生日お祝い有難うございました。

柿木 國夫

結婚記念日の御祝ありがとうございます。
金婚式迄5年、現役で頑張りたいと思います。

岡本 崇司・鹿間 行雄

結婚記念日の花贈呈有難うございました。

中谷 利幸・増田耕太郎・田中 伸明

花を飾りましょう。

都倉 達殊・西中 亮二

早退します。

プログラム予定

3月16日 (水)

卓話
米山奨学生の時間

昼食メニュー

カツ飯

3月23日 (水)

卓話
職業奉仕に関する時間

昼食メニュー

幕の内&吸物

3月30日 (水)

卓話
職業奉仕に関する時間

昼食メニュー

海老フライカレー
&野菜サラダ

4月3日 (日)

お花見家族例会
於:十輪寺

【親睦委員会担当】

3, 4月のプログラム

3 月		4 月	
2	卓話 廣瀬会員	6	お花見家族例会 4月3日(日)に変更 【親睦委員会担当】
9	高砂R.C.との合同例会 講師 中村 勝広氏 (元阪神タイガース) 於: ウェディングパレス鹿島殿 【プログラム委員会担当】	13	雑誌月間 都倉委員長 【雑誌広報委員会担当】
16	卓話 米山奨学生の時間	20	献血運動の実施と促進例会 4月22日(金)に変更 【社会奉仕委員会担当】
23	卓話 職業奉仕に関する時間 原田会員	27	地区出向者の時間 原田会員・青木会員
30	卓話 職業奉仕に関する時間 濱田会員		

例会記録 2011. 3. 2 (水) 通算1560回

ソング 「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」「歓迎歌」

来訪ロータリ 籠谷 啓一様(高砂R.C.)

アン報告

出席報告 2月16日 会員数48名 欠席者0名 出席率100% <修正による>
(この内出席免除者8名(出席6名))3月2日 会員数49名 欠席者9名 出席率81.63%
(この内出席免除者8名(出席4名))

誕生祝

濱中 幹雄 会員 井野 隆弘 会員
竹原 俊三 会員

結婚祝

垣迫 雅一 会員 岡本 崇司 会員
大森 明夫 会員 柿木 國夫 会員
辻田 重恵 会員 鹿間 行雄 会員

委員会報告 

新入会員入会式 大村裕史会員



お茶会が開催されました

親子茶道教室

3月6日 於：十輪寺



3月2日 (6)

卓話「日本の古代史を考える」

廣瀬 明正 様

現在、わが国の古代史学界を大きく分けると二つの流れがあります。一つは古事記、日本書紀などの古典を尊重し、記述内容・所伝を史料として理解する立場。もうひとつは、古典などの伝承は後の時代の創作が多く信用できず、史料批判をする立場。前者は初代神武天皇以下歴代の天皇の存在を認めますが、後者は初代から第15代応神天皇あたりまでは存在が疑わしい天皇で、架空の天皇が多いと見ます。一時期は後者の学説が盛んでしたが、考古学の発達による新発見（埼玉県稲荷山古墳出土鉄剣銘など）により、記紀の信頼性が見直され、最近では前者の立場が有力になっております。



また、邪馬台国の問題も古くから九州説・大和説があり、なかなか決着しません。最近、奈良県桜井市の纏向（まきむく）遺跡から大型建物跡が発見されました。これについて、邪馬台国＝大和説の学者の中には卑弥呼の宮殿跡ではないかと考えたりする人もいます。なぜなら、放射線炭素年代法による出土土器の年代測定から、建物群が200～240年頃の間が存在していたことが判明し、卑弥呼の治世（200～248年頃）に符合するからであります。さらに、一部の考古学者は200年代の王の居住域（宮室）が明確になれば、邪馬台（ヤマタイ）国はヤマト国に読み改めるべきだといひます。しかし、これらはわが国の古典を全く無視した説といわざるを得ません。皇室の祖先がはじめから大和の国に居住し、大和王権（ヤマト朝廷）を樹立したかといえ、そうではありません。初代神武天皇は九州から東征して、大和の国に進出されたことが記紀に明記されております。古くから大和地方に勢力をもった豪族からみれば、皇室は九州からきたよそ者の子孫ということになります。邪馬台国＝九州説に立てば、卑弥呼時代のヤマト朝廷は第10代崇神天皇の御世になります。この天皇は四道將軍を派遣して、ヤマト朝廷の領域を広めたことで知られています。宮殿は磯城の瑞籬（みづがき）宮、師木水垣宮と記紀に伝えられ、まさに建物の三方が水流で囲まれているという纏向遺跡のあたりがふさわしい場所といえましょう。



このように、古典を尊重するか、無視するかによって、歴史の内容が大きく違ってきます。わたしは文学の博士号を取得しましたが、これからは古典を尊重しつつ、考古学の成果を参考にして、整合性をもった歴史研究をつづけていきたいと思ひます。

会長 伊藤勝之 幹事 嶋谷拓雄 クラブ会報委員長 岡本崇司

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)